

いちほまれ

いちほまれ栽培No.1

【水管理と害虫防除情報】

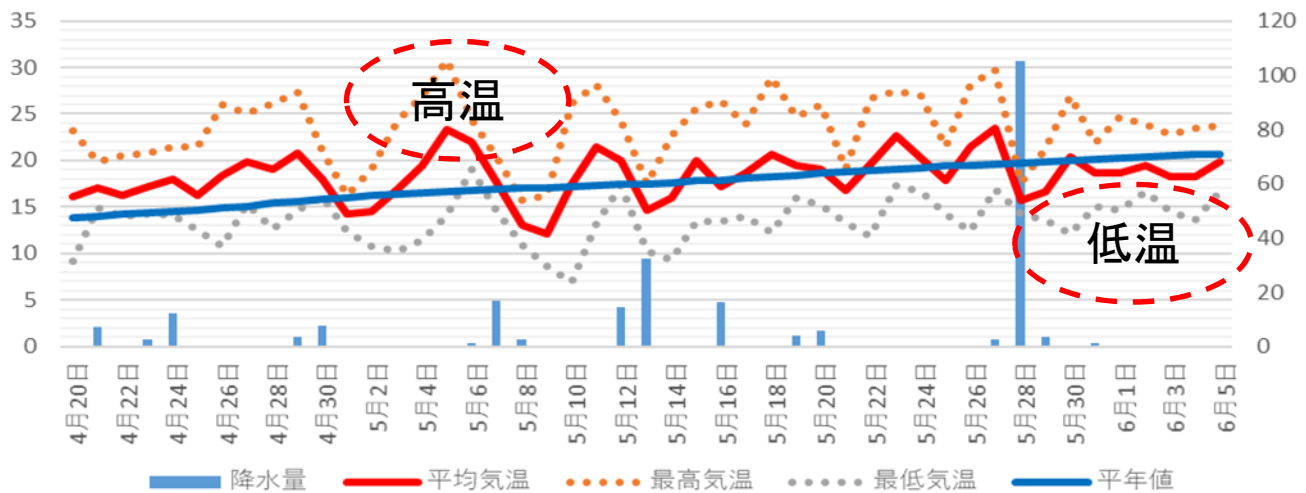
- 適正な水管理で分けつ促進!!
- 暖冬年は害虫の発生増に注意!!



本年は、田植が始まる4月下旬以降、雨も少なく気温は平年より暖かく推移し5月上旬植えのいちほまれをはじめ活着は良好に進んでいます。気象庁の発表では、本県では例年6月上中旬が梅雨入りの目安です。これからの天気まわり十分に確認し、水管理と軽めの田干しをおこないワキ(ガス)の発生を抑えましょう!

1. 田植時期～現在までの気温の変化

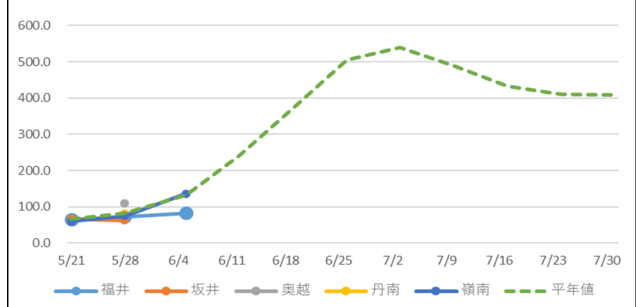
- 5月中旬の気候は一部雨の日がありましたが天候に恵まれ気温は平年並みで田植作業は順調にすすみました。
- 5月28日にはまとまった雨が降り、以降は平年に比べ平均気温は低く推移しています。



2. 生育調査結果

- 5月中旬植えのいちほまれは順調に活着し、草丈および茎数は平年並みに生育しています。
- 5月下旬からの低温の影響もあり、葉色は淡く推移しています。

いちほまれ茎数 (本/㎡)



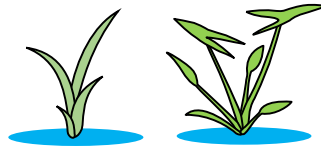
3. 今後の栽培ポイント

① 補植苗の撤去

圃場内にある補植苗は放置しておくことで、いもち病の発生源となるため、早急に撤去しましょう。

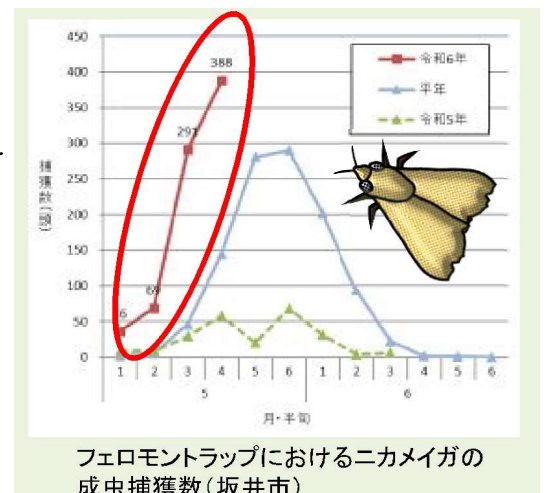
② 圃場内の雑草確認

ヒエやホタルイ、オモダカなど取りこぼしの雑草が見られたら、早めの中期除草剤を散布をしましょう。



③ ニカメイガの発生に注意!

ニカメイガの発生時期が平年より早いいため、防除適期は6月上旬頃です。例年発生が多い地域は防除しましょう。また、本年は暖冬であったため、斑点米カメムシの発生が多くなる予測ですので畦畔の除草管理に努めましょう。



フェロモントラップにおけるニカメイガの成虫捕獲数(坂井市)